

学年	教科	科目	教科書名
中2	国語	国語	新しい国語2 (東京書籍) 現代の書写 一二三 (三省堂)

1. 授業のねらい

- ・国語の基礎として、漢字・語彙・文法・修辞表現や用語などの知識を身につけます。
- ・漢字学習においては漢字検定3級取得を、ことわざ学習においてはことわざ検定4級取得を目標とします。
- ・さまざまな文章の読解や授業での取り組みを通して論理的思考力を育み、「読む・書く・話す・聞く」能力を養います。
- ・文章構造など表現の基礎を学ぶとともに、それらを活用し、自分でも論理的で説得力のある表現ができる能力を養います。
- ・探究活動や言語活動、アクティブラーニングなどを通じて、物事を多面的・多角的な視点から解釈する力を養います。
- ・高等学校での学習に先んじて、古典分野に関し、古語や文法、句法や助字などの基本知識を身につけます。
- ・RST(Reading Skill Test)の結果から文章を読む際の阻害要因を把握し、それを基に正しく読むための力を養います。

2. 授業のすすめ方

- ・複数資料を関連させ読み解く力を養うため、教科書本文を中心に、資料集やデジタル教材などを適宜利用し授業を行います。
- ・授業開始5分間程度、漢字練習や語彙習得の時間を設け、漢字や語彙の定着を図ります。
- ・記述問題や小論文に対応できるよう、各単元や定期考査などで、自分で表現を添削しながら文章を書く作業を行います。
- ・「読む・書く・話す・聞く」能力を養うため、各単元や定期考査などでさまざまな言語活動を実践します。
- ・副教材を用いて、基礎的な読解力や知識などを習得するためのトレーニングを適宜実施します。

3. 学習上の留意点

- ・授業中に黒板に書かれたことだけでなく、興味を持った言葉や考えをノートに記録することを心がけてください。
- ・小テストを実施するので、計画的に準備して試験に臨んでください(平常点として評価されます)。
- ・授業で学習した部分は何度も正確に音読して、意味のわからないところは辞書で調べておきましょう。
- ・授業では積極的に意見を発表し、アクティブラーニングの時間には仲間と意見交換を積極的に行っていきましょう。
- ・平素からさまざまなことを鵜呑みにせず、自分の考えの前提や根拠などを説明できるように意識していきましょう。

4. 副教材・参考文献

- ・『新・国語の便覧』(正進社) ※ 授業・予習・復習・発展学習に使用。(3年間使用)
- ・『解いて覚える中学生の文法』(とうほう) ※ 授業・予習・復習に使用。(3年間使用)
- ・『3回書き込み式標準漢字演習』(とうほう) ※ 小テストの出題範囲として使用。漢字検定対策(3年間使用)
- ・漢字練習ノート ※ 授業・自習用に使用。1冊終了後はプリントシートで継続。
- ・『読み方レスキューグレードII』(正進社) ※ 授業・自習用に使用。
- ・『「聞くこと」10分テスト2年』(正進社) ※ 授業・自習用に使用。
- ・『ことわざ検定4級・5級対応ガイドブック』(ことわざ能力検定協会) ※ 小テストの出題範囲として使用。ことわざ検定対策(2年間使用)
- ・長期休暇の課題。
- ・必要に応じて各種プリント並びにデジタル教材を配布します。

5. 評価の視点・テスト・課題等

- ・定期考査から客観的に評価し、そこに平常点(一・二学期は四〇点、三学期は二〇点)が組み込まれます。
- ・平常点は、小テスト(上記副教材参照)、宿題などの提出状況を総合的に判断し算出します。
- ・ロイロノートやClassi、スタディサプリで課した宿題等も平常点に反映されます。
- ・定期考査、平常点等を基に「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について学年末に評価します。

6. 定期考査

- ・教科書ならびに副教材を使用して学習した授業の内容を中心に出题します。
- ・試験に際しては、教科書の説明で使用したプリントや資料集、デジタルコンテンツなどについても学習して下さい。
- ・全ての定期考査に文法の出題があります。
- ・各学期の期末考査に、「聞く」能力を客観的に判断するための放送による出題があります。

<出題分野>

- 1学期中間考査... 韻文・説明的文章・文法・漢字・語句・文章表現
- 1学期期末考査... 小説・説明的文章・文法・漢字・語句・文章表現
- 2学期中間考査... 古典・説明的文章・文法・漢字・語句・文章表現
- 2学期期末考査... 古典・韻文・小説・文法・漢字・語句・文章表現
- 学年末考査 ... 説明的文章・韻文・文法・漢字・語句・文章表現

※ 状況によって変動がある場合があります。

7. 授業計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	4	〈詩（巻頭詩）〉	小テスト	・詩の意味を捉え、読み方を工夫し音読する。
		〈言葉の学習〉	提出物	・キーワードの意味に注意して、筆者の考えを捉える。
		1 言葉を感じる	デジタルコンテンツ	1
		〈言語感覚〉	定期考査	・短歌の表現の工夫を捉え、鑑賞したことをまとめる。
	5	〈詩歌創作〉	適宜 CBT による漢検受験を	・自然や体験の描き方を工夫して短歌を作る。
		〈日本語探検 1 話し言葉と書き言葉〉	推奨する	・話し言葉と書き言葉の違いについて理解する。
		〈漢字道場 1 形の似た漢字〉		・形が似ている漢字について違いを調べ理解する。
		2 感想を深める		2
	6	〈文学一〉		・ものの見方や考え方について自分の考えを持つ。
		〈学びの扉 1 人物像を捉える〉		・場面展開や表現方法について自分の考えをまとめる。
		〈学びの扉 2 相手の立場を踏まえ、考えを深める〉		・多様な考え方に触れ、自分の考えを深める。
		〈聞く〉		・表現の仕方や根拠の確かさに注意して聞き、考える。
	7	〈日本語探検 2 敬語〉		・敬語の分類三種類について理解する。
		〈漢字道場 2 他教科で学ぶ漢字(1)〉		・他教科で学ぶ語句で用いる漢字について理解する。
3 伝え方を工夫する			3	
〈学びの扉 3 情報を図や表に整理する〉			・情報の整理の仕方を理解し、情報を図や表に整理する。	
	〈構成・展開〉		・文章の全体と部分の関係に注意して、内容を読み取る。	
	〈伝達〉		・テーマを決め、調査して、自分の考えを書く。	
	〈文法の窓 1 用言の活用〉		・動詞の活用を理解する。	
	〈漢字道場 3 漢字の意味〉		・漢字における類義語・対義語・多義語を理解する。	
		〈読書への招待 1〉		・本で世界を広げる。
				1 学期 R S T 実施予定
二 学	9	4 説得力を高める 〈吟味・判断〉	小テスト 提出物	4 ・論の進め方を捉え、文章の内容を読み取る。

期		〈学びの扉3 論証の説得力を見極める〉 〈論証・説得〉 〈話す〉 10 〈文法の窓2 助詞〉 〈漢字道場4 同訓異字〉 5 伝統文化を味わう 〈古文 随筆〉 〈古文 物語〉 〈漢文〉 11 〈通信・手紙〉 〈文法の窓3 助動詞〉 〈漢字道場5 他教科で学ぶ漢字(2)〉 6 描写を味わう 12 〈文学二〉 〈描写・表現〉 〈日本語探検3 類義語・対義語〉 〈読書への招待2〉 〈毛筆 行書〉	デジタルコンテンツ 定期考査 適宜 CBT による漢検受験を 推奨する	・論証の説得力について考える。 ・根拠を明確にして自分の意見を書く。 ・説得力のある提案をする。(プレゼンテーション) ・助詞の学習をする。 ・同訓異字の学習をする。 ・伝統的な日本語の調子について学習する。 5 ・古文随筆に触れて、ものの見方や表現の仕方を捉える。 ・古文表現の特徴に注意して描かれた状況を読み取る。 ・漢文の表現に注意して朗読し、漢詩を味わう。 ・依頼状・礼状などを語句の使い方に注意して推敲する。 ・助動詞の学習をする。 ・他教科で学ぶ語句で用いる漢字について理解する。 6 ・人物の言葉や行動に着目してその人物像を捉える。 ・人物像が伝わるよう、言葉や行動・態度などを描き出す。 ・類義語と対義語について理解する。 ・本から必要な情報を読み取り、自分の考えをまとめる。 ・文字の大きさ間隔などを意識しバランスよく書く。
三 学 期	1 2 3	毛筆 書き初め展 7 効果的に表現する 〈言葉とメディア〉 〈学びの扉4 質問する・反論する〉 〈話し合う〉 2 〈学びの扉5 想像を誘うよう表現する〉 〈感性・想像〉 〈漢字道場6 同音異義語〉 3 〈詩(詩の言葉)〉	小テスト 提出物 デジタルコンテンツ 定期考査 適宜 CBT による漢検受験を 推奨する	2月ことわざ検定 4級取得を目指す。 7 ・事実の述べ方で印象が変わることについて考える。 ・発言や論証を吟味し、質問したり反論したりする。 ・多様な立場や意見を想定し、長所・短所を出し合う。 ・描き方を工夫して、想像を誘う表現をする。 ・描写や心情などを工夫して物語を作る。 ・同音異義語の学習をする。 ・韻文表現を味わう。

				・本の世界を楽しむ。
--	--	--	--	------------

※ 状況によって変動がある場合があります。